

地域人材・資源活用推進事業の取組み

副校長 濱田 恵

天高く澄み切った青空の気持ちの良い日が続くようになり、秋本番となりました。今学期は宿泊行事等について、保護者の皆様、七生福祉園職員の皆様の御協力により、安全に実施することができております。ありがとうございます。今後も児童・生徒にとって実りのある体験となるよう、安全第一に取り組んでまいります。

今年度本校では、東京都の事業「地域人材・資源活用推進事業」の指定を受けました。高等部を中心に、①地域の人材を活用した学びの充実、②地域の資源を活用した、特別支援教育の理解推進に取り組んでいます。

地域の人材活用としては、日野市郷土資料館の御協力により高等部1年生が、住んでいる地域、日野市について学びました。また、卒業生がお世話になっている「パン工房ボンシュシュ」より専門家の方に来ていただき、高等部食品加工班の製品開発として、マフィンのレシピ提供及び製造技術支援をしていただいています。

地域の資源活用による理解推進は、レインボーカフェで近隣の方をお迎えしての営業を開始しました。また、帝京大学の御協力を得て、キャンパス内での高等部作業製品の販売、帝京大学祭においてキャンパス内での特別支援教育理解推進ブースの出店を行いました。

いずれの活動も、高等部の生徒達にとって、校内では体験することのできない学校外の方とのふれあいの機会となり、コミュニケーション、臨機応変な対応等たくさんの学びがありました。地域の皆様や大学の学生の皆様には、都立七生特別支援学校の存在や、教育内容について知っていただく機会となり、たくさんの励ましの言葉や、感想をいただくことができました。これらの活動の詳細につきましては、「地域人材・資源活用推進事業 通信 1号(令和5年9月発行)」「同 2号(令和5年10月発行予定)」を御覧ください。ホームページへも掲載予定です。これからも、本校の教育活動を様々な形で発信し、特別支援教育の理解推進に努めてまいります。

防災教育講演会「避難所運営ゲーム(演習)を通して高める防災意識」を開催しました!

8月30日(水)に、防災教育普及協会の宮崎賢哉氏を招聘し、避難所運営ゲーム(演習)を活用した防災教育講演会を開催しました。避難所運営ゲーム(演習)では、教員は避難所運営を任されたという想定のもと、次々にやってくる避難者に、迅速かつ適切に対応できるか疑似体験することを通して、平時からしておくべき準備や被害軽減策を明確化していきます。演習には本校PTA役員の方にも参加いただきました。

- ・支援物資が届いたが受付、保管、配布の場所は?また、マスコミ等への対応は?
- ・乳幼児の場合、おむつ替えや授乳のためのスペースが必要だが、どこに設置する?

演習の中で、教員は上記のような様々な課題に直面し、対応方法について悩みながらもチーム一丸となって避難所を運営し、現状の課題を明らかにしていきました。今回の演習で得た学びを学校全体で共有し、準備を進めることで、いざ有事の際には教職員が一丸となって組織的に対応できるよう準備していきます。



主幹教諭 福永 顕